ヒトの性差を、生物学・医学から読み解く

性差研究の最前線

2026
12.18

近年、医学・生命科学研究において「性差」への注目が高まっています。本セミナーでは、性差のメカニズム、身体構造、身体機能、疾患という4つの異なる視点から、最新の研究成果をご紹介します。性差を生物学的・医学的な研究課題として捉え、その理解を深めるための知見をお届けします。



深見 真紀
国立成育医療研究センター
研究所 所長



服部 淳
国立成育医療研究センター
研究所分子薬理研究室長
女性の健康総合センター
女性内分泌学研究室長



鈴木 堅太郎
山梨大学大学院
総合研究部生命環境学域教授



溝上 顕子
九州大学大学院歯学研究院
OBT研究センター准教授



松原 圭子（司会）
国立成育医療研究センター
女性の健康総合センター
OIC準備室 室長
研究所ダイバーシティ研究室 室長

DATE&TIME

2026.12.18 FRI 18:00~19:30

FORMS

PROGRAM

1. イントロダクション〈ヒトの性差に関わる因子〉：深見 真紀
2. 身体構造の性差〈身長〉：服部 淳
3. 身体機能の性差〈痛み〉：鈴木 堅太郎
4. 疾患の性差〈アルツハイマー病〉：溝上 顕子

※終演後から20:00まで現地参加者の皆様との交流の時間を設けさせていただいております。

FORMAT ハイブリッド開催

〈会場〉
TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub
LiSH スタジオ1　ワークショップルーム1

〈オンライン〉
視聴URLは、開催前日までにメールでご案内します。
（後日アーカイブ配信予定）

CONTACT

国立成育医療研究センター　女性の健康総合センター事務室
josei_kenko@ncchd.go.jp

CO-ORGANIZERS

国立成育医療研究センター 研究所 / 女性の健康総合センター / 成育ダイバーシティ実現推進室

Designed by Magnific

国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

国立成育医療研究センター
女性の健康総合センター
Integrated Center for Women's Health